



令和元年 9月 25日
富岡保育園

運動会に向けて 各クラスよりひとこと

ひよこ組
0歳児



運動会があと4日後に迫ってきました。先日ウサギ組さんから始まって、年少さん、年中・年長さんのダンスを見せてもらいました。一人一人の顔が輝いていました。みんなやらされているのではなく、心から楽しんでダンスをしていました。一人一人がやる気に燃えていて、みんな自信を持って踊っているのが分かりました。こんな子ども達の育ちに嬉しくなり、今年も、いい運動会をお見せすることができることに、安堵致しました。

でもだからと言って、跳び箱8段跳ぶ子が、何人も続出しているというわけではありません。今年も、運動会が去年より3週間早く開催されます。子ども達の成長には、時間がかかります。夏の暑さが治まって、清々しい秋を迎えるといつの子も達も、グーンと成長します。運動能力も確実に伸びます。

ところが今年も、子ども達が3週間早く運動会を迎えるので、時間が足りないのです。しかし先生たちは、子ども達のやる気に火をつける保育を、全クラスで実践してきました。どうかその成果を見てあげてください。どれだけひとりひとりに心をかけ、愛情をかけてきたかしれません。どの子もみんな自信をもって、やる気に燃えて運動会に参加しています。

子どもの心を傷つけるのに、刃物は要りません。他の子どもさんと比べて、「なんね、あんたはあれぐらいしかできんとね」と言いさえすれば、十分です。これでしっかり子どものやる気をつぶせます。

ただ富岡保育園の保護者の方には、そんな残酷な言葉を吐く大人はいらっしゃらないと確信しています。

子ども達は、運動会での自分の姿をおとうさん、おかあさん始めおうちの方に認められると、より一層やる気を出してきます。大事なものは、この「やる気」です。

幼児期の子どもに大事なものは、技量ではなく、自信と意欲です。子ども達の心に、どんなことにも挑戦してみる好奇心とチャレンジ力を育ててあげましょう。何かができるだけできるというのは、後のことです。まずは「挑戦」です。

そんな富保の保育から育った子ども達の姿をご覧ください。目指すは「心の一等賞」です。「転んでも泣きません!」、「お友達をしっかり応援します!」、「最後まで一生懸命がんばります」、この誓いの言葉をこの42年間、守ってきました。運動会が終わったら、「一生懸命頑張ってたね。一生懸命してたのが、よく分かったよ」と、声をかけてあげてください。では当日、「一緒に楽しく遊びましょう」。たくさんのおいでをお待ち申し上げております。
(和氣 みほ)

毎日子どもたちの動きには驚かされています。歩行も安定してきて小走りになったり、一人立ちをしたり、這い這いでつかまり立ちできるところに行き、部屋のあちら、こちらで、つかまり立ちしては「せんせい 見とった〜」と振り向いては嬉しそうなお顔。私たちが手をたたくと喜んで自分も手をたたこうとして座り込んでしまっていますが、また、つかまって立とうとします。子どもたちのやる気を引き出すのは、「いつもあなたを見ているよ」というおとなの目が大事なのではないかなと思います。

ひよこ組も親子で運動会に参加したいと思います。当日は違う場所、大勢の人に泣き出してしまってもあるかもしれませんが、それはいつもと違うということがちゃんとわかっているということです。「だいじょぶよ」「一緒にいるよ」と子どもたちに声をかけてあげてください。大好きなお父さん、お母さんめがけていく姿は親子関係がしっかりできているということです。どうぞ、同じ目線で子どもたちと楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。大きくなった子どもたちの姿と一緒に応援してください。

—濱崎 拓子・新居崎 智子・西川 京子・松崎 共子・古瀬 朋子—

うさぎ組
1歳児

運動機能が大きく発達する1歳児さん、去年は、まだ這い這いやよちよち歩きでの参加だった子も、今年初めて参加する子も、足取りも安定し、しっかり走れるようになりました。また、ボールを投げたり、転がしたり、登ったり、下りたり、両足ジャンプなどの成長も見られます。「自分で」という気持ちもいっぱい出てきた子ども達、手洗いやパンツやズボンの着脱など、どんなに小さいことでも、遊びや生活のなかでの一人ひとりの「自分でやりたい」「自分でできた」という気持ちを大切にしてきました。小さな「できた」「うれしい」の積み重ねが、「自信」や「やる気」へと繋がっていていると思います。

随意運動は、1回すると「またしたい」と思えるところがすごいところです。お部屋に巧技台を並べると、早くやりたくてすぐにでてきてしまい、「座って待っててね」と言うとひっくり返って泣いてしまう子もいました。でも、「ここで待っていたら、次できるよ」と繰り返し伝えていくと、少しずつ自分の名前が呼ばれるまで待っていることができるようになりました。1歳児にとって、「座って待ってられる」という事はすごいことです。踊りやかけっこも、楽しんでいきます。「よーいどん」と言う前からもう待てないとかけていたり、覚えてたの振りでも踊っている姿はとても可愛いです。

当日は、大勢のお客さんと会場の雰囲気どんな反応を見せてくれるのか私たちもドキドキですが、泣かずに参加でき、そこに立っているだけでもすごいなと思っただけ、温かい応援よろしくお祈りします。

—坂西 孝子—

うさぎ組 2歳児

9月からりす組さんが進級して来て18名の賑やかなクラスになりました。りす組さんが来たことで小さい子には優しくしようといううさぎ組の子どもの気持ちが良く分かります。大きくなったのだなと感じ嬉しく思いました。また、りす組さんもお兄ちゃんお姉ちゃんに付いていこうとする姿を見て刺激を十分に受けているのだなと思います。

4月から半年が経ちました。2歳児クラスは自我の芽生えや自己主張、イヤイヤ期など色々な事を経験して学んでいく時期です。友だちとの関わりも出てくるので、言い争いや友達に対して手が出たりと喧嘩になることもありました。新しい部屋に新しい担任もいたので、4月はじめはドキドキしながらの保育でしたが、こぼれを吸収するのが早い子ども達との会話は面白いです。裏ページへ続く



「こんなことも言うのだな～」と毎日驚かされ、一日一日の子どもの姿は違うのでその都度子ども達と一緒に遊び、学びながら保育してきました。

足腰もしっかりしてきて体もよく動きます。かけっこでトラックを走りましたが、月齢の低い子はちょこちょこ可愛いわりで、大きい子は頼もしい走りでした。月齢関係なくそれぞれが楽しんで走っている姿が嬉しかったです。返事は恥ずかしがる子もいますがそれもまた可愛いです。踊りも「〇〇君とっても上手やったよ～」と褒めると嬉しそうにしている可愛い姿も見られます。

かけっこも運動プログラム楽しんでしていますが、並んで歩いていたり、自分の番がくるまで座って順番を待ったりすることも大切です。それがなかなか難しく、場所を追い越したり、隣の子ともちょっかいの出し合いになったり、トラブルになることもあります。また、ホールや部屋で踊っていると、踊ってみたいけれど恥ずかしくて踊るのをためらっている子もいれば、ふざけてみたりする子もいます。並んで歩いていくだけでも難しく、パラパラ動きだしたり、どこかへ走って行ってしまったり、曲が始まると座り込んだり、固まって動かなくなってしまったりと本当に様々な姿があります。恥ずかしさの表れかなと思います。

本番は大勢のお客様の前なので、固まってしまうこともあるかと思いますが、子ども達の恥ずかしいという気持ちも受け止めて温かく見守ってくださると嬉しいです。恥ずかしいという気持ちが出てきた事は、成長している証拠だと思います。「何でうちの子は踊らないの？」と言う風には決して思わず、お子さんの「はにかしかった」「緊張した」という思いも受け止めてあげてください。なにより、お家の方からの応援が一番うれしいですので、終わったらたくさん誉めてあげてください。私たちも、「保育士と一緒になら安心して運動会に参加できる」というのを心掛けていきたいと思っています。

当日はあの広い体育館にぎっしりお客様が入る事を予想すると、いつもと違う雰囲気の中でかけっこでトラックを走るだけでも緊張しそうです。本番は今よりも緊張したり、恥ずかしがったり、時には「ママがいい」と泣いてしまい競技に参加できない事がもしかしたらあるかもしれません。

そんな姿もあたたかい目でどうか見てあげてください。朝ご飯をしっかり食べ、元気に朝から来られるようにしてください。

—清水 綾子・本巢 香・嶋尾 美香穂—

年少児 3歳児



いよいよ、子ども達も楽しみにしている一大イベントの運動会が近づいてきました。

毎日「先生、明日が運動会？」と聞くIちゃん。「まだだよ。28日の青の日(土曜日)だよ」と言うと、「え～、早く運動会したいな。だって楽しいもん。ママとパパとじいちゃんとはあちゃん達が見に来てくれるよ」と指折り数えて楽しみにしています。

うさぎ組の時には、体を動かすのもまだぎこちないと言いますか、危なっかしいところがありましたが、年少になってグンと成長し、鉄棒に挑戦したり、平均台を渡ったり、一人で三輪車に乗ったりと体の動きも活発にそして自分の思うように全身を動かせるようになってきました。

体の成長だけでなく、心の成長も見られます。まだまだ恥ずかしさもあるようですが、みんなと一緒に何かをする事を楽しめるようになりました。友だちとかけっこをして楽しい。一緒に踊ると楽しい。

一方で、一緒にかけっこをする中で、悔しい・負けたくない、という気持ちも出てきました。ある日のかけっこでは、いつもが一番だったRちゃん。しかしその日はスタートしてすぐに3番になりました。必死に追いかけていたのですが、トラックを半周走ったところで『もうダメだ』と思ったのでしょうか。一生懸命走るのをやめてしまいました。競争心が出てきたからこそ悔しさも大きかったのだと思います。でも、私たちが大切にしているのは『心の一等賞』です。それからみんな【ちかひの言葉】と一緒に言うようになってきました。

「転んでも泣きません」・「お友だちをしっかり応援します」・「最後まで一生懸命頑張ります」

運動会を通しての子ども達の心の成長は大きいものだったと思います。 右ページへ続く

本番当日、「お母さん、ちゃんと見ているからね」と笑顔で送り出して下さい。何よりのエネルギーになると思います。

たくさんのお客様、いつもとは違った雰囲気小さな胸がドキドキし緊張することでしょう。本番、何が起こるか分かりません。泣いてしまうかもしれません。でも、決して怒らないで下さい。子ども達の心の成長を優しく受け止めてあげて下さい。年少で参加する運動会は一生に一度しかありません。他のお子さんとは比べるのではなく、昨年から大きくなった今の子ども達の姿をしっかり見てあげて下さい。ご声援どうぞ宜しくお願い致します。

—富高 由依・鮫島 悦子—

年中児 4歳児



保育指針に、この時期の子どもの特徴として「子どもたちも全身のバランスをとる能力が発達し、体も部分がかなり自分の意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。内面的の発達もみられ、見られている自分に気づき、自意識が芽生えてくる。目標をたてて行動するようになるので、自分の思ったようにいかないのではないかと不安があったり、つらくなったりなどの葛藤を体験する。そんな中で他人の心や立場を気づかう感受性を持つことができるようになり、他人にも目にみえない心があることを実感し、身近な人の気持ちがわかるようになり、情緒が一段と豊かになる」とありますが、この運動会に向けての活動を通してその姿がよく見える場面がたくさんありました。体を動かすことは大好きな子ども達です。登ったり、滑ったり、鉄棒をしたり、鬼ごっこで走る姿も随分たくましく感じられます。その反面、「上手くできなかったらどうしよう・・・」という気持ちの葛藤も見ることがありました。

鉄棒にしても、なかなか、しようとしなかった子もいましたが、ある日「ぶたのまるやき」ができるようになると大喜びで、お迎えの時に母さんやおばあちゃんに見せていました。この「できた」という喜びはヤル気にもつながります。それからは誘わなくても鉄棒にやってきてぶら下がっています。そのうち足をかけて回ることができ、前回りにも挑戦しようとするでしょう。はじめの1歩の「できた」のあの子の笑顔は忘れられません。

かけっこでも競争心むき出しで走っています。勝てばうれしいけど、負けると悔しいのです。泣いたり、怒ったり、次に走るときは走らないという子もいました。また、泣いている子を気づかってくれる友だちもいました。できたことを一緒に喜んでくれる友だちもいました。いろんな思いを友だちと一緒に経験しながら「心の一等賞」を目指して頑張っています！

年中になり、年長さんとのダンスや玉入れ、綱引き、リレーもあります。どの種目にも子どもたちの頑張りがみえる場面がたくさんあります。昨年よりも一回り大きくなった子ども達がまぶしいくらいです。当日は大好きなお父さんやお母さん、ご家族の応援でますます張り切ってくれることでしょう。たくさん拍手で応援してあげてください。そして、たくさん誉めてほしいと思います。

—中島敦子・野崎美智子—



年長児 5歳児



いよいよ子どもたちが、待ちにまった運動会が近づいてきました。先週、「後10日で運動会だよ」と言うと「やったー!!」と思わず跳び上がって喜び子どもたちを見て、「よかった」と胸を撫でおろしたことでした。

さて、今年の年長さんも運動会を迎えるにあたって、色々なドラマを見せてくれました。8月23日にAちゃんから始まった短縄跳びから、年長さんに次々と火がつき、縄跳びに燃え、その後長縄跳び、跳び箱、鉄棒、雲梯と子どもたちのやる気の火は、消えることなく、今もお燃え続けています。“昨日まで、跳べなかった跳び箱が跳べるようになった”となると楽しくてたまらず、「もう1回!」と「止められない」「止まらない」になります。

まさに「できるから、楽しい、楽しいからできるようになる」だと思います。一つのことができるようになると、今まで出来なかったこと(スイミングも)にも「挑戦してみよう!」という勇気と自信が湧いてくるのだということ今年の子供たちは、教えてくれました。「みんなはすごいね!色んなことができるようになって、先生は何もできないよ」と話したことです。

運動会のこの時期になるといつも思い出すのが、以前和氣先生が子どもたちにお話しして下さったことです。

「リオデジャネイロ・パラリンピックの水泳の競技に出られた木村選手は、目が見えません。その日、木村さんは、飛び込みで深く潜りすぎて浮き上がった後も曲がってコースロープにぶつかってしまい、スタートから失敗してしまいました。しかし、『今までたくさん練習してきたから大丈夫!』という自信があったので、自分で盛り返し、自己ベストのタイムを出して銀メダルを獲得されました。木村選手が、事後のインタビューの時に『銀メダルをもらったことよりも、失敗しても自分で気持ちを立て直して、自己ベストを出せたことがうれしかった』と、おっしゃっていました。皆もお友だちに勝ったから良かったとか、負けるから走らないとか人と比べるのではなく、自分の目標に向かって努力する人になって下さい」とお話しして下さいました。

長縄とびでも、跳び箱でも、つい友だちよりたくさん跳べたから、高く跳んだから嬉しい「やった!」と言いたくなりますが、そうではなく、あきらめずに頑張ったその子のそれまでの過程が大事であり、自己の記録を更新することが、すごいことなんだと子どもたちにも伝えてきました。

私たちが、求めているのは、子どもたちの心を育てることです。子どもたちが、何事にも自信を持って意欲的に取り組み、「できた」と言う達成感を味わったり、失敗しても諦めず自分で立ち上がり、また挑戦する、そういう心が育つようにと日々の保育を積み重ねているところです。運動会は、子どもたちの一年間の成長からみると一つの通過地点であり、運動会を通して子どもたちは、色々な経験をしています。それらが、これから生きていくための大事な体験になると確信しています。

年長さんにとっては、保育園最後の運動会となりました。子どもたちが、朝から元気に機嫌よく登園できるように、睡眠を十分にとって、朝ごはんをしっかり食べて登園させて下さい。子どもたちにとって、運動会が「楽しい一日」となりますよう、私たちも一生懸命心をかけたいと思います。

富岡児童クラブ



学童の子ども達による運動会のお手伝いも11年目を迎え、一番最初にお手伝いを初めた子たちが19歳になりました。子ども達と係決めの話し合いをして、子ども達の「やりたい」という意欲に支えられてここまで続けてこれました。ずっと学童の伝統として続けていることをうれしく思います。今年も学童のみんなと力を合わせて運動会を支えましょう。

また、係の仕事だけでなく、「最後まで一生懸命がんばります」「お友達をしっかり応援します」の「心の一等賞」を思い出して応援席でも、保育園児の皆さんを応援してください。この頃、お手伝いがない時間帯の応援席での態度にはらはらさせられます。みんなと決めた約束を守る心の強さを見せてください。右ページへ続く

また、学童さんになってもお手伝いをして頑張ってくれる姿は、きっと保育園の子ども達にも「大きくなったら自分もするぞ」と思わせてくれるのではと、期待しています。

小学生の競技は「トンネル競争」をします。それと、役員さんと学童で綱引きの対戦をします。当日たくさんの卒園生が参加して下さるよう祈っています。どうか遊びに来て下さい。

—野田明子・赤尾陽子・古瀬朱梨—



おしらせ

○スイミングスクール変更のお知らせ

10月8日(火)午前 年中 午後 年長

10月18日(金)午前 年中 午後 年長

お盆休み8月16日(金)と即位の礼10月22日(火)の振り替えです。

忘れ物がないようにお願いします。

○富岡地区町民体育大会について (年中・年長児)

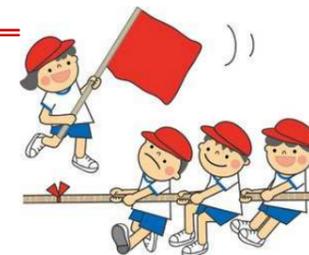
日時:10月6日(日) 雨天中止 広報無線でお知らせ

集合:富岡小学校体育館 午前8:30

服装:衣装に着替えますので自由です

※プログラム1番です。午前9時頃 終了後、体育館前で解散。

当日都合で参加できない場合は、早めにお知らせください。



10・11月行事予定

9月27日(金) 運動会前準備午後5時30分頃より

9月28日(土) ふれあい運動会

会場:富岡小学校体育館 時間:午前8:20~午後1:30 雨天決行

10月1日(火) 岡田先生運動遊び 年少・年中・年長児体操服をお願いします

10月3日(木) 年長児サッカー教室 体操服・運動できる靴、水筒、タオル

10月6日(日) 富岡地区町民体育大会 年中・年長児参加

10月8日・9日 小関康之先生運動プログラム うさぎ組以上は、体操服をお願いします。

10月17日(木) 富岡地区敬老会 年長児出演 富岡公民館

遊戯「Pecori Night」「あばれ太鼓~雷ゾーン」

10月27日(日) 苓北町お城祭り 年長女児 「Pecori Night」(遊戯)

11月1日(金) 交通安全タッチ運動 午前9:30~ 約一時間

年長児・年長児の保護者 保護者の会役員さんご協力をお願いします)

